

その他資料 2

中島地区のグリーンスローモビリティについて

説明資料

中島地区のグリーンスローモビリティについて

1. 経緯

(1) グリーンスローモビリティ（以下「グリスロ」）とは

- 時速 20km 未満で公道を走る 4 人乗り以上の電動パブリックモビリティ【添付参照】
- 国土交通省は、高齢化が進む地域での地域内交通の確保や、観光資源となるような新たな観光モビリティの展開など、地域が抱える様々な交通の課題解決と、地域での低炭素型モビリティの普及を同時に進められるグリスロを推進

(2) SDGs スマートアイランドモデル事業

- 松山市は、令和 2 年 7 月に国から「2020 年度 SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定
- 産学民官金で構成する「松山市 SDGs 推進協議会」（令和 3 年 1 月末 135 団体）は、中島を舞台に人口減少や少子高齢化、エネルギーの脆弱性などの地域課題を解決し、持続可能な地域を目指す「スマートアイランドモデル分科会」を設置
- 松山市は、国の補助金を活用してグリスロ（4 人乗り 3 台、3 月末納品予定）を導入し、令和 3 年 4 月以降の実証を予定

(3) グリスロ試験運行

- 導入に先立って、令和 2 年 7 月から約 1 ヶ月、中島でグリスロ 1 台を試験運行
- 社会福祉法人や NPO などに協力してもらい、試乗した方へのアンケート調査を実施
- アンケート結果では、「開放的で楽しく気持ちいい」「狭路でも走行しやすい」などグリスロの導入に前向きな意見が得られた。

2. 今後の予定

- 実証事業に向けてスマートアイランドモデル分科会で検討中
- 保険の加入、運転者への講習、ドライブレコーダーの設置、走行禁止区域の設定、リスクアセスメントの実施など安全面を確保したうえで、令和 3 年 4 月以降に実証事業を開始
- 既存の公共交通とは棲み分けして、島内の社会福祉法人や NPO などに貸し出し、高齢者のお出掛けやお散歩、デイサービスの送迎、「ほしふるテラス姫ヶ浜」の宿泊者の島内散策などに活用
- 貸し出した事業者や試乗してもらった島民、観光客から意見や感想をいただき、ニーズや課題などを整理したうえで、次年度以降の実証に反映

グリーンズローモビリティ事業化に向けたポイント

- ①地域の課題解決に適した運行手法、車両、ルート、運賃、体制(運転手の確保)等の検討・調整
- ②地方公共団体(交通、まちづくり、福祉部局等)、交通事業者、商工会、福祉関係者、観光事業者等、様々な関係者が本モビリティの意味を理解し、それぞれ自らの役割を認識し、地域で一緒に取り組む体制づくり
- ③お披露目会、出発式、チラシの配布等の情報発信を積極的にを行い、出来るだけ多くの方々に知ってもらい、自分たちのモビリティとして愛着を持ち棄ってもらおう気運の醸成

事業化した事例

広島県福山市(タクシー事業)

運行主体：アサヒタクシー(株)
 運行地域：轄地区
 利用料金：初乗り630円
 (通常タクシーと同額)
 車両：ゴルフカート



大分県姫島村(レンタルカー事業)

事業主体：姫島エコツーリズム推進協議会
 利用地域：姫島
 利用料金：1時間 4,000円
 (4人乗り)
 車両：ゴルフカート



東京都豊島区(バス事業)

運行主体：WILLER EXPRESS(株) ※豊島区より委託
 運行地域：池袋駅周辺
 運賃：一回券
 (大人)200円
 車両：eCOM-10
 (バス型車両)
 運行体系：路線定期運行



東京都町田市(自家用有償予約制)

運行主体：社会福祉法人悠々会
 運行地域：鶴川団地
 利用対象：団地に居住する
 高齢者(登録制)
 登録料：年間 500円
 車両：ゴルフカート



グリーンズローモビリティで いつもの「おでかけ」を もっと楽しくしてみませんか？



問い合わせ先

利便性に関して

国土交通省 総合政策局 環境政策課
 TEL: 03-5253-8268

運行や安全に関する質問・アドバイス

公益財団法人 交通エコロジィー・モビリティ財団
 TEL: 03-3221-7636

上記以外について、お近くの各運送事業者にお電話にご相談ください

北海道運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 011-290-2726
 東北運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 022-791-7508
 関東運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 045-211-7210
 北陸信越運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 025-285-9152
 中部運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 052-952-8007
 近畿運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 06-6949-6410
 神戸運輸監理部 総務企画部 企画課
 TEL: 078-321-3145
 四国運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 082-228-3496
 九州運輸局 交通政策部 環境・物流課
 TEL: 087-802-6726
 沖縄総合事務局 運輸部 企画室
 TEL: 092-472-3154
 TEL: 098-866-1812

グリーンズローモビリティ:時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電動パブリックモビリティ

グリーンズローモビリティの5つの特長

- ① Green...CO₂排出量が少ない**電気自動車**
- ② Slow...**ゆっくり**なので、観光にぴったり
- ③ Safety...**速度制限**で安全。高齢者も運転可
- ④ Small...**小型**なので**狭い道**でも問題なし
- ⑤ Open...**窓がない開放感**が**乗って楽しい**



軽自動車



普通自動車



小型自動車



*16人乗り車両の運転にあたっては、中型自動車免許が必要になります。

従来の公共交通とグリーンズローモビリティの違い

従来の公共交通

多くの人を早く、時間通りに閉じられた空間で遠くまで

グリーンズローモビリティ

こどもまりとゆつくり、余裕を持って開放的な空間で近くまで

グリーンズローモビリティが持つ付加価値

- ① 車内のコミュニケーションが弾むので、乗って楽しい
- ② 車外とのコミュニケーションも弾むので、周りの人も楽しい
- ③ 地域の人(高齢者、女性、障害者など)が「楽しい公共交通の運転手」という新しい活躍の場を得やすい
- ④ 地域コミュニティがデザインしやすいので、運営する人も楽しい
→乗る人・進む人・運転する人・運営する人が「楽しい」



グリーンズローモビリティの政策コンセプト

- 1 従来の公共交通ネットワークを補完する「低速の小さな公共交通」
- 2 (電動でオープンな構造であることから)運転手と乗客や乗客同士、乗客と歩行者などのコミュニケーションが弾む機能を持つ「**乗って楽しい公共交通**」
- 3 福祉面でのお出かけ支援、地域の賑わい創出、観光客の満足度向上、高齢者の見守り、地域防災・防犯のための絆の強化等の多様な副次的効果を持つ「**コミュニケーション圏**」

低炭素型の持続可能な交通、持続可能な地域社会の実現

低速のため近距離移動を得意とするグリーンズローモビリティは、既存の交通機能を補完する新たな輸送サービスとして、地域住民のラストマイルや観光客向けの新しいモビリティ、地域の賑わい創出などの活用が期待されている。

① 地域住民の足として

- 1) バスが走れなかった地域
- 2) 高齢化が進む地域
- 3) お年寄りの福祉増進
- 4) 既存のバスからの転換

② 観光客向けのモビリティとして

- 1) ガイドによる観光案内
- 2) プチ定期観光バス
- 3) パークアンドライド
- 4) イベントでの活用

③ ちょこつと輸送

駐車場から施設まで
施設から施設まで

④ 地域ブランディング

「地域の顔」として